

国際女性デー
2023
記念シンポジウム

3月4日(土)
14:00 - 18:30

日仏会館
(東京恵比寿)
1階ホール

使用言語:
日本語・フランス語
(同時通訳付き)



FEMMES ET
REPRÉSENTATION:
VÊTEMENTS,
MODE ET GENRE

女性 と 表象

服飾
モード
ジェンダー



主催: 日仏女性研究学会
共催: 公益財団法人 日仏会館
日仏会館・
フランス国立日本研究所

科学研究費基盤研究 (C)
研究代表者: 村田京子
「ジェンダーの視点から見た19世紀フランス文学とモード、美術との相関性」
(20K00501)

要事前申し込み
<https://www.mfj.gr.jp>

お問い合わせ
cdfff.info@gmail.com



14:00

14:10

開会の辞 西尾治子(日仏女性研究学会代表)
開会の言葉 ベルナル・トマン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

基調講演

14:10

14:45

CHRISTINE BARD
(PROFESSEURE À L'UNIVERSITÉ D'ANGERS)
CONFÉRENCE INITIALE
UNE HISTOIRE POLITIQUE DU PANTALON(FRANCE 1789-2022)
クリスティーヌ・バール(アンジェ大学教授)
「ズボンの政治史(フランス1789-2022)」

第一部

14:45

15:45

Vêtements et mode :
la représentation des femmes et de leur statut dans la littérature française
服飾とモード
— フランス文学における女性表象と社会
司会: 中山信子(早稲田大学演劇博物館)

「ゾラの『ボヌール・デ・ダム百貨店』における
「女性の搾取」—「頭のないマネキン人形」—

村田京子(大阪府立大学名誉教授)

「コレットにおける身体の表象

—男装、舞台での身体表現、そして書くということ—

吉川佳英子(愛知工業大学教授)

PREMIÈRE
SESSION

休憩 [15:45-15:50]

第二部

15:55

17:25

Féminité et masculinité autour de l'image vestimentaire
服飾のイメージをめぐる男性性・女性性
司会: 辻山ゆき子(共立女子大学)

「19世紀後半における
男装をした女性ダンサーの役割とイメージ」

丹羽晶子(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)

「19世紀フランスにおける
オリエントの女性ダンサー表象にみるズボン」

渡辺采香(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)

「19世紀フランスにおける男児服と初めてのズボン」

新實五穂(お茶の水女子大学准教授)

DEUXIÈME
SESSION

休憩 [17:25-17:35]

第三部

17:35

18:25

パネルディスカッション・質疑応答

司会: 西尾治子

討論者: クリスティーヌ・バール、村田京子、吉川佳英子、
新實五穂、丹羽晶子、渡辺采香

18:25

18:30

閉会の挨拶 志田道子(日仏女性研究学会)

国際女性デー
2023
記念シンポジウム

3月4日(土)

14:00 - 18:30

日仏会館 1階ホール

ADRESSE

〒150-0013
東京都渋谷区
恵比寿3-9-25

ACCÈS

■JR山手線: 恵比寿駅東口
恵比寿ガーデンプレイス方面へ
徒歩10分
■東京メトロ日比谷線:
恵比寿駅1番出口 アトレ方面・
JR恵比寿駅東口を經由 徒歩12分

使用言語:
日本語・フランス語
(同時通訳付き)



要事前申し込み
<https://www.mfj.gr.jp>

↓お問い合わせはこちら
cdfjf.info@gmail.com

FEMMES ET
REPRÉSENTATION:
VÊTEMENTS,
MODE ET GENRE

女性
表象

服飾
モード
ジェンダー